

連邦議事堂ツアー

連邦議事堂ようこそ

ツアーの一般情報

- 歴史的な連邦議事堂におけるガイド付ツアーは、ここを紹介する短い映画から始まります。
- 議事堂の安全と安心を確保するために、ツアー中は指定ガイドと常に一緒に行動することが必要です。
- ツアーにはお手洗いの利用時間は含まれていません。紹介の映画が上映されるオリエンテーション劇場に入場される前に、連邦議事堂ビジターセンターにあるお手洗いをご利用ください。
- ツアーの間は、彫像や絵画をお楽しみいただけますが、絶対に触れないでください。
- 床に座り込まないでください。議事堂ビジターセンターにはご利用いただける多くのベンチがあります。
- 何らかの理由で医師の助けを必要とする場合は、担当ガイドか連邦議事堂警察の担当者に申し出てください。

これは自己ガイドツアーではありません。

ツアーの間は、担当ガイドのそばを離れないでください。

連邦議事堂ツアーでは、一部の区域を除いては写真撮影が可能です。議事堂ビジターセンター内では、オリエンテーション劇場での写真撮影はご遠慮ください。



写真撮影のためにグループを離れないでください。担当ガイドは連邦議事堂警察が設定した経路に沿ってツアーを実施するよう求められています。



連邦議事堂は、世界で最も有名な民主主義政府の象徴です。1800年以降、連邦議会はこの議事堂にあります。

議事堂は、米国の法律を作成するため議会が会合し、歴代大統領が就任式を行い、一般教書演説を行う場所です。

200年以上もの間に、議事堂は国家とともに成長し、新しい州が連邦に加わるごとに増えてきた上院議員と下院議員を収容するために、新しい両翼が増築されました。

その天井は歴史的なイメージで飾られ、ホールには米国史における偉大な出来事、人物を描いた彫像と絵画が配置されています。

クリプト



議事堂1階の大きな円形の区域はクリプトと呼ばれています。40本の砂岩造りのドリス式円柱とその上の砂岩造りのアーチ天井がロタンダの床を支えています。建物のこの中心部は1827年に完成しました。床の中央にある星印は、ワシントンDCの街路が配置され番号付けされた際に中心となった地点を示しています。



クリプトには、建国当初の13の植民地を代表する国立彫像ホール所蔵の13点の彫像が配置されています。



サウスダコタ州のラシュモア山に刻まれた彫刻の製作者として有名なガットスン・ボーグラムにより彫られたエイブラハム・リンカーンの胸像。



クリプトのマグナカルタ展示では、その原理が米国憲法の多くの内容の基礎となった英国の文書の複製が呼び物になっています。この展示全体は芸術家のルイス・オズマンにより英国で製作され、1976年に米国独立二百周年を祝して英国政府から米国に寄贈されたものです。

ロタンダ

議事堂のロタンダは、議事堂の中心に位置する直径96フィート(29.3メートル)、高さ180フィート(54.9メートル)の円形広間です。ロタンダは、卓越した市民のための国葬や美術品の奉納といった重要な式典のために使用されます。ロタンダの天蓋には、イタリア系米国人画家コンスタンチーノ・ブルミディの「ワシントンの神化」と題するフレスコ画が描かれています。ロタンダでは、米国史の重要な出来事を描いた歴史的な絵画やフレスコ画法の帯状装飾(「フリーズ」)を観ることができます。



このジョージ・ワシントンの彫像は1934年にバージニア州から国立彫像ホールの所蔵品として寄贈されたものです。ジョージ・ワシントンは全会一致で初代米国大統領に選ばれました。

ロタンダにある彫像や胸像は、アントワヌ・ウッド作のジョージ・ワシントンの彫像をはじめとして主に歴代大統領のもので、エイブラハム・リンカーンの大理石の彫像は、政府の委託を受けた最初の女性芸術家であるビニー・リームによる作品です。ロタンダに記念として彫像が置かれている大統領としては他に、ドワイト・デビッド・アイゼンハワー、ジェームズ・ガーフィールド、ユリシーズ・S・グラント、アンドリュース・ジャクソン、トーマス・ジェファソン、ロナルド・レーガン、ジェラルド・フォードなどがいます。ロタンダの彫像には、アレクサンダー・ハミルトン、マーチン・ルーサー・キング・ジュニア博士の像やクレティア・モット、エリザベス・コディー・スタントン、スーザン・B・アンソニーの肖像記念碑もあります。

マーチン・ルーサー・キング・ジュニアの胸像は1986年1月16日にロタンダで公開され、1989年にロタンダに永久設置されました。





ロタンダの天井にある「ワシントンの神化」は1865年にコンスタンチーノ・ブルミディにより描かれたもので、ジョージ・ワシントンが自由と勝利/名声を象徴する女性達に付き添われ、6つのグループに囲まれながら、栄光のうちに昇天する姿を表現しています。このフレスコ画は4,664平方フィート(433平方メートル)の面積です。

ロタンダの8つの額縁付壁龕には、大きな歴史的絵画が飾られています。独立革命当時の場面を描いた4枚の絵画は連邦議会が1817年に芸術家ジョン・トランブルに製作を委託したものです。独立宣言、バーゴイン將軍の降伏、コーンワリス卿の降伏、ジョージ・ワシントン將軍の軍務退役を描いており、1819年から1824年の間にロタンダに設置されました。初期の探検の4つの場面は1840年から1855年の間に追加されました。ジョン・バンダーリン作「コロンプスの上陸」、ウィリアム・パウエル作「ミシシッピ川の発見」、ジョン・チャップマン作「ポカホントスの洗礼」、ロバート・ウィアー作「ピルグリムの乗船」です。



この絵画は、1776年6月28日に独立宣言の最初の草稿が第二回大陸会議に提出された時の場面を描いています。この文書は、そのためにアメリカ革命戦争が行われ、そして国家の基盤として存続し続ける原則というものを表しています。それから1週間も経たない1776年7月4日に、独立宣言は正式に採択されました。



ジョン・トランブル作の絵画「ジョージ・ワシントン將軍の退役」は、1783年12月23日にアナポリスのメリーランド州議会議事堂で、ジョージ・ワシントンが大陸軍の総司令官としての軍務を退役した場面を描いています。この行動は、アメリカの民主主義の根本原則の1つになっている軍に対する文民統制を確立した点で重要でした。



バーゴイン將軍の降伏



コーンワリス卿の降伏



コロンプスの上陸



デ・ソトのミシシッピ川発見



ポカホントスの洗礼



ピルグリムの乗船

国立彫像ホール

国立彫像ホールは旧下院会議場という名称でも知られていますが、ロタンダの南にある大きな2階建ての半円形の部屋です。この歴史的な広間は50年間近く(1807~1857年)連邦下院の会議場として使われ、現在は国立彫像ホールの所蔵品の中心的な展示場になっています。その所蔵品は、個々の州によりその州の歴史上の著名人を褒め称えるために寄贈された彫像から構成されています。所蔵品には現在、50州から寄付された100点の彫像があります。各州から2点ずつの彫像が全州から寄贈されました。

議事堂の彫像の中で最も美しく優雅な作品の1つであるカルロ・フランゾーニ作の「歴史の車」は、議事堂ロタンダにつながるドアの上を飾っています。この新古典主義の大理石の彫刻は、歴史の女神クリオが時間の二輪馬車に乗って下院会議場だった場所での出来事を記録している姿を表現しています。二輪馬車の車輪には会議場の時計がはめ込まれており、サイモン・ウィラード作です。下院の会議場は1857年に移転しましたが、時計はいまだに下院会議場の入り口に面しています。



写真は、注記がない限り議事堂運営委員会による提供

ツアー終了後

会期中の議会審議の見学

上院・下院ビジターギャラリーは両院のいずれかが会期中には常に訪問者に公開されています。ただしギャラリーは連邦議事堂ツアーには含まれていません。整理券が必要で、外国からの訪問者は議事堂ビジターセンターの上の階の下院・上院アポイントメントデスクで整理券をもらうことが可能です。下院が会期中でない場合でも、訪問者は整理券を持っていれば、午前9時から午後4時まで下院ギャラリーに入場できます。上院が会期中でない時も、上院ギャラリーは1週間以上の通常休会の間は公開されており、訪問者は整理券を持っていれば、午前9時から午後4時15分まで入場できます。両院ギャラリーへの入場は議事堂ビジターセンターの上の階から入ります。

ギフトショップとキャピトルカフェ・レストラン

議事堂ビジターセンターの上の階にある2店のギフトショップは、議事堂の美術と建築に啓発されたユニークな品揃えの商品を販売しています。全商品が米国製です。議事堂ビジターセンターの下の階にあるキャピトルカフェ・ビジターセンターレストランは、出来立てのスープ、サラダ、デザート、飲み物を取り揃えています。



上院・下院
ギャラリーでの
写真撮影は禁止
されています。

注意事項

ツアーの間は指定されたガイドおよびグループと常に一緒に行動しなければならないことを、忘れないでください。緊急事態が発生した場合、担当ガイドが連邦議事堂警察からの指示を伝えます。

ありがとうございます!

連邦議事堂をご訪問いただき、ありがとうございました。議事堂ビジターセンター入口近くに各種言語のパンフレットが用意されています。また、www.visitthecapitol.gov から入手できます。



連邦議事堂のツアーは、一時的に停止・変更になる場合もあります。

U.S. CAPITOL

ビジターセンター

www.visitthecapitol.gov